

(平成28年6月作成)

事務事業評価シート

(H.28)No.	4256	(H.27)No.	4256
-----------	------	-----------	------

事務事業名	青少年センター音響設備改修事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	509201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	青少年センター音響設備等改修事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年センター費	青少年センター音響設備等改修事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	1	文化振興
	小施策		
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
青少年センター(アドバンスコープADSホール)において、多様で優れた文化芸術の鑑賞機会を提供でき、また市民の芸術文化活動を支える拠点施設として利用できるように、適切な改修を行います。
事業内容
青少年センター(アドバンスコープADSホール)の老朽化による音響設備の改修事業です。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画		音響設備改修工事			

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	0千円	60,000千円	0千円	0千円	
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債		60,000			
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数		0.05人			
職員					
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 0千円	380千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 0千円	60,380千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
青少年センター(アドバンスコープADSホール)は昭和58年の開館以来30年が経過し、竣工時に設置された舞台音響設備の老朽化が顕著となっています。設備の取り換え工事を実施し、良好な施設環境を整え、利用促進を図る必要があります。	平成26年度に音響設備改修設計を完了しており、改修工事を平成28年度に行います。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	市民文化発表の場である青少年センターの施設環境を良好に維持することで、市民文化の向上に寄与します。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
良好な施設環境の整備を進めるとともに、引き続き施設の適正管理に努めます。	